

# 畜産みやぎ

題字  
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所  
仙台市上杉一丁目2番16号

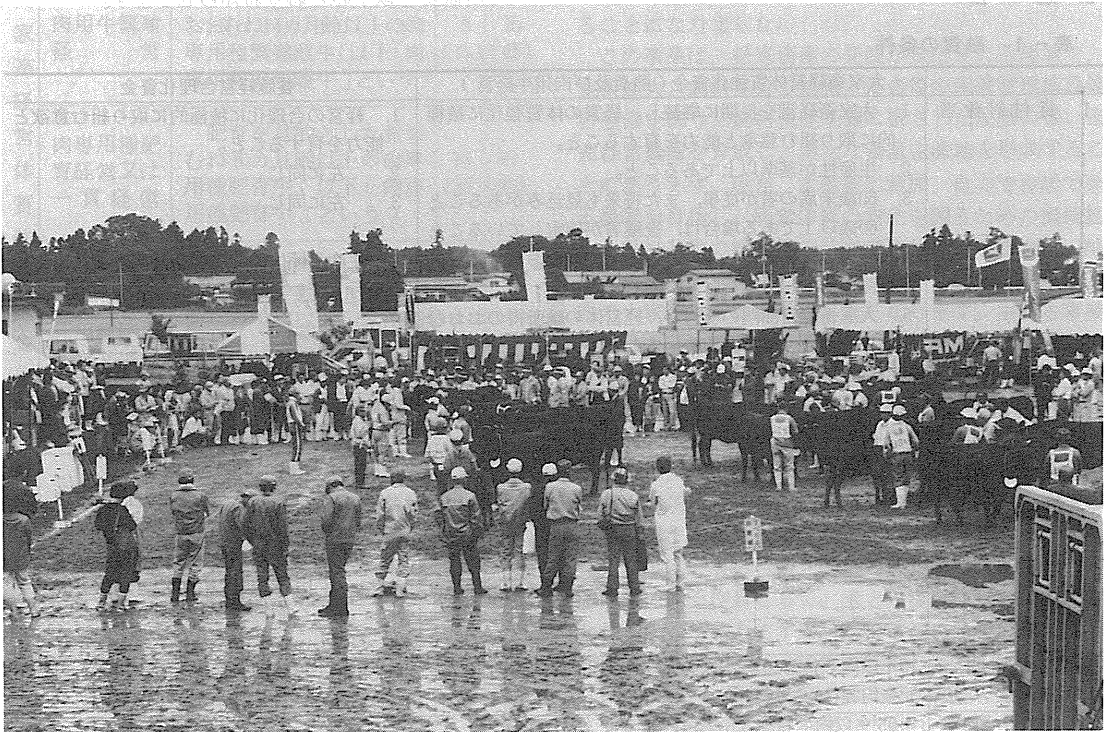
観 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

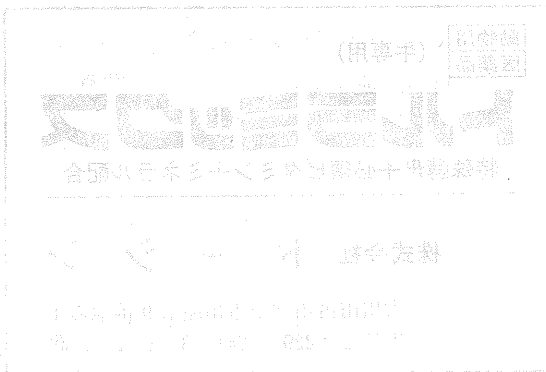
印刷所 K K東北プリント



農林水産祭参加宮城県乳用牛、肉用牛共進会：63. 9. 27～29 (古川家畜市場)

## もくじ

経営体質強化のため新資金(案)誕生……	2
栗原地区公社畜産基地建設事業について……	3
和牛の登録資格とその産子の市場性について……	5
食肉の資質向上をめざして……	7
築館のフランス鴨……	8
系統豚組合せ検定成績……	8
豚オーエスキー病の動向……	10
随 想……	10
人の動き……	11



### 経営体質強化のため 新資金(案)誕生

宮城県畜産課

#### 1. 資金名

酪農及び肉用牛経営に対しての「大家畜経営体質強化資金」と養豚経営に対しての「養豚経営合理化資金」の2種類です。

#### 2. 趣旨

表-1 融資の条件

	大家畜経営体質強化資金(酪農及び肉用牛経営)	養豚経営合理化資金
1. 貸付対象者	1. 大家畜経営を長期に継続し、経営の体質強化に積極的に取り組む意欲と能力を有すること。 2. 生産性が基準以上であること。 3. 60歳未満の者が従事、また将来も見込みがあること 60歳以上である場合は、後継者が確定していること 4. 酪農経営にあたっては、生産者団体のおこなう計画生産に協力し、実行していること。 5. 大家畜経営部門の所得が、経営体の総所得のおおむね3分の2以上を占めていること。 6. 飼養規模が表-2以上であること。	1. 経営の合理化に積極的に取り組む意欲と能力を有すること。 2. 左に同じ 3. 左に同じ 4. 生産者団体のおこなう計画生産に協力し、実行していること。 5. 飼養規模が表-2以上であること。
2. 貸付対象資金	毎年の償還金(元金及び利息)の借換分が原則	制度資金以外の養豚経営に係る資金の借換え分
3. 貸付期間	昭和63年度から昭和67年度までの5ケ年間	昭和63年度のみ
4. 貸付限度額	「体質強化計画」の知事承認額	1. 経営体当たり、限度額は 個人 1,200万円 法人 3,600万円 2. 対象家畜1頭当たり限度額は 繁殖豚 15万円×頭数 肥育豚 2万円×頭数 3. ただし、1,2.のうちいずれか低い方の額
5. 償還期間と方法	15年以内(特認20年以内)うち据置期間3年以内 元金均等払い	5年以内で据置期間なし 元金均等払い
6. 貸付利率	4.05%以内(特認3.5%以内)	4.05%以内
7. 融資機関	農協、農協連、農林中央金庫、知事の指定した銀行等	左に同じ
8. 利子補給率	2.15%以内	左に同じ
9. 自助努力	0.5%以上(特認1.05%以上)	0.5%以上
10. 融資枠	63年度~67年度の5ケ年間で1,500億円(全国)	63年度(単年度)で200億円

(備考) 貸付利率、利子補給率は、基準金利を6.7%と想定しています。

<p>“加美グリーンで豊かな土づくり”を (製品届出番号-宮城県第731号)</p> <p>名称 加美グリーン 成分内容 本品は鶏糞等を高温発酵させたもので、どの作物に使用されてもへい害はありません。この施用により土壌pH8.6が保たれますので土壌改良資材として最適です。(水分30% N 2.60%-P 6.18%-K 3.19%) 小売単価 1袋15kg 320円(バラ売り可)</p> <p>製造 加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切 販売元 付7-1) (TEL 0229(65)-4336)</p>	<p>動物用 医薬品 (牛専用)</p> <p><b>トルラミックス</b> 特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合</p> <p>株式会社 トーシン</p> <p>古川市古川字上古川屋敷9番地の1 TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

農産物の自由化要請や、円高の進行など最近の畜産をめぐる情勢は厳しさを増しつつあり、畜産経営の安定的発展を図るには、生産性の向上等による「低コスト生産の推進」等経営の体質強化を図る必要があります。

今回、このような情勢に対応するため、畜産振興事業団が中央畜産会を通じ、農協等の融資機関に対し利子補給を行う事業に助成し、畜産経営の体質強化に資する事業に取り組む見込みとなりましたのでその概要を以下のとおりお知らせします。

表-2 貸付対象者の飼養頭数規模

資金名	経営の種類	家畜の種類	飼養規模(頭)	
			個人	法人
大家畜経営 営体質強化資金	酪農経営	搾乳を目的としたおおむね16カ月齢以上の乳用成雌牛(以下「乳用成雌牛」という)	15(30)	
	肉用牛繁殖経営	子牛生産を目的としたおおむね14カ月齢以上の肉専用種繁殖雌牛(以下「肉専用種繁殖雌牛」という)	5 (15)	15 (45)
	肉専用種肥育経営又は一貫経営	肥育を目的としたおおむね6カ月齢以上の肉専用種肥育牛(以下「肉専用種肥育牛」という)	10 (30)	30 (90)
	乳用種肥育経営又は乳用種ほ育育成経営	肥育を目的としたおおむね6カ月齢以上の乳用種肥育牛(以下「乳用種肥育牛」という)又は肥育素牛の供給を目的としたおおむね8カ月齢以下の乳用種ほ育育成牛(以下「乳用種ほ育育成牛」という)	15 (45)	45 (135)
養豚経営合理化資金	養豚繁殖経営	子豚生産を目的としたおおむね6カ月齢以上の繁殖雌豚(以下「繁殖雌豚」という)	30	90
	養豚肥育経営又は一貫経営	肥育を目的としたおおむね30kg以上の肥育豚(以下「肥育豚」という)	300	900

(注) (1)1戸法人は個人に含めるものとする。  
(2)( )内は、特認要件の飼養頭数。

(経営係 佐藤 実)

## 栗原地区公社営畜産基地 建設事業について

### =21世紀への村づくり=

宮城県畜産課

昭和63年度から45年にわたり、栗原郡の築館町、栗駒町、金成町、一迫町、鶯沢町、花山村の5町1村で、念願でありました公社営畜産基地建設事業が実施されることになりました。

この事業は、将来畜産の発展が見込まれる地域で、規模拡大、飼料基盤の拡充、畜舎等の飼養管理施設等の整備を図り、飼料生産基盤に根ざした足腰の強い畜産経営農家を育成し、新たな畜産主産地を形成することにあります。現在、本事業に参加、自力で自活できる農家を目指し、経営体質の強化を図るための規模拡大、飼料基盤の拡充等を計画実施している農家は、酪農46戸、肉牛125戸の計171戸で、これは、栗原地区内の大家畜飼養農家の約5%になります。主たる事業内容は、草地等飼料生産基盤の造成整備171ha、道路整備6,210m、畜舎等建物施設83棟、農業用機械173台、事業費にして約16億3千万円です。事業計画達成時には、酪農家1戸当りの飼養頭数は現在の平均20頭から27頭、肉牛農家は9頭から21頭に増頭され、その結果として畜産所得が増大し、農家生活の安定向上が図られることになっております。

栗原地区の各町村は、産業の基盤を農業に置き、畜産は米に次ぐ作目として、米との複合経営の中で重要な柱となっておりますが、規模零細にして飼料基盤が弱い経営体が多く、今後農業経営の確立を図るためには、規模拡大、飼料基盤の拡充等が課題となっております。昭和62年度から推進しております水田農業確立対策の中でも、酪農及び肉用牛生産を本地区の土地利用型農業の基軸として位置づけ、長期的観点から今後の厳しい内外の諸情勢に対応し得る大家畜生産の確立を目指し、その振興合理化を総合的に推進しようとしており、時を同じくしての肉用牛等大家畜生産におけ

新発売

くみあいサプリメント

※母豚用栄養強化飼料


## ママミックス

(母豚体力増強、繁殖性向上)

※養豚用栄養強化飼料

## トンヘルシー


(ビタミン強化、健康増進)



農協・宮城県経済連・全農

2年連続上物数  
日本一!

仙台牛銘柄推進協議会



正統の  
育ちと味

る規模拡大、飼料基盤の拡充を積極的に推進し、飼料生産基盤に立脚した足腰の強い経営郡の育成を目的とした公社営畜産基地建設事業実施に対する関係町村、農家の期待には実に大きなものがあります。本計画樹立後、日も浅いのでありますが、新たに事業への参加を希望する農家が増える傾向にあり、県といたしましてもこれから2年後の計画変更に加え、事業計画の見直しについて検討しておるところであります。

すでに事業実施している5町1村の栗原地区は、肉用牛等大家畜畜産振興を図るに、自然的、社会的、経済的な諸条件に恵まれ、特に秀峰、栗駒山の裾野の広大な山林原野等土地資源は、これからの畜産振興に、大きな夢を持たせるものがあります。今後は、本事業が、畜産を通しての総合的な農業の生産振興対策補助事業であることをより多くの人々に深く理解、浸透、定着し、事業が一層強力に推進されることにより、地域の活性化、来たるべき21世紀への村づくりの推進役の一端を担えればと望むこの頃であります。

栗原地区公社営畜産基地建設事業概要

事業参加資格概要	参加戸数	家畜飼養の概要	区分	乳牛		肉用牛		
				頭数	戸数	頭数	戸数	
	173	うち経営移転	現況	924	46	20.0	1,128	125
30	予定戸数	計画	1,231	46	26.8	2,605	125	20.8



事業種目	事業量		事業費		
基本施設	草地造成改良	58.9 ha	88,960		
	草地整備改良	108.4 ha	170,675		
	飼料畑造成	4.75 ha	7,595		
	飼料畑整備	0.9 ha	1,480		
	道路整備改良	6,210 m	231,050		
	施設用地造成	0.40 ha	700		
	用排水整備	1 基	3,250		
	小計		503,710		
	農業施設	隔障物整備	2,000 m	2,600	
		畜舎等整備	56棟 12,701m <sup>2</sup>	501,510	
看視舎整備		1棟 50m <sup>2</sup>	2,500		
飼料調整貯蔵施設整備		42基 690m <sup>3</sup>			
農具庫整備		4棟 138m <sup>2</sup>	4,554		
家畜排せつ物処理施設整備		16棟 874m <sup>2</sup>			
電気導入		6棟 549m <sup>2</sup>	3,100		
飼料庫整備			18,513		
小計			601,053		
農機具等導入費		172 台	248,206		
計		248,206			
測量及び試験費	一式	61,685			
用地及び補償費	一式	-			
工事事雑費	一式	26,944			
一般管理費	一式	94,596			
計		183,225			
合計		1,536,194			
付帯事務費		92,169			
合計		1,628,363			
総計		1,628,363			
年度別	全体	63年度	64年度	65年度	66年度
	1,536,194	410,897	450,793	383,964	290,540
	(814,180)	(217,774)	(238,920)	(203,500)	(153,986)

単位：千円 (草地飼料係 齋藤喜平)

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

**東北獣医薬品株式会社**

TEL (25) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市上杉三丁目3-8  
022 (225) 7338~9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28  
0229 (34) 2018~9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1  
0220 (22) 2278

**WORLD** 世界の  
**サンショアン**

株式会社 **五十嵐商会**

仙台市卸町五丁目1番地4  
電話 (022) 236-2525(代表)

## 和牛の登録資格とその産子の市場性について

### 宮城県畜産農業協同組合連合会

子牛の生産農家にとって子牛の市場性は最大の関心事です。近年、牛肉の需要が高まり、これに伴って子牛価格も上昇し、全体的には堅調に推移しているが、個々の子牛について見た場合、必ずしもすべてが高値で取引さされている訳ではありません。それは購買しようとする子牛を肥育した場合に、発育はどうか、また、肉質はどうかを考え、親牛の血統や資質、発育状態などを見るから、購買者のニーズに合った子牛は高値で取引されるが、そうでないものは安値で取引されることとなります。

市場性の高い子牛としては、次の条件、即ち、①発育がよいこと、②資質が良いこと、③体型が良くしっかりしていること、④強健であること、⑤肋骨の状態が良いことなどが挙げられます。これらは牛の改良が進み、血統が良いということになります。

そこで、牛の改良度を判断する手段として実施されている和牛の登録資格をもとに母牛とその産子の市場性について述べてみます。

本論に入る前に和牛の登録について簡単にふれると、現在の和牛登録の種類は基本登録、本原登録とこれらの登録牛からの産子の登記及び高等登録があります。基本登録は体格得点76点以上、本原登録78点以上、高等登録は前記登録牛で78点以上の体格得点を取得し、しかもその牛の産子が一定頭数、基本登録または本原登録を取得することが条件となっています。(注. 昭和64年4月より規程が改正される)

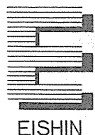
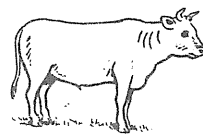
さて、本論の母牛の登録資格とその産子の市場性ですが、市場取引の実際場面で重視されるのは、体型、資質、発育状態(体重)です。改良の進んでいるものは当然良いわけですし、資質については被毛、皮膚で推測します。子牛の発育は出荷日令と出荷体重から判断するわけです。本会がまとめた資料(別表)によると、無登録牛を基準としての比較ですが、出荷日令

では高等登録牛の産子がやや短いものの、他の登録牛の産子は無登録牛産子と変わらない。しかし、出荷体重では登録牛の産子は何れも無登録牛の産子を上回っており、高等登録牛の産子は特に良い値を示しています。

登録中の産子はこれらの条件が備わっているので市場での取引は有利に行われると言えます。ちなみに平均価格を見ると、無登録牛産子に対して基本登録牛産子は31~33%、本原登録牛産子は34~37%、高等登録牛産子は54~59%もそれぞれ高値で取引されています。更に生体単価を見ると、基本登録牛産子は26~31%、本原登録牛産子は29~34%、高等登録牛産子は42~51%も無登録牛産子より高値となっています。このことは改良の度合いが進む程に肉質が良く、しかも安定しているものと受け止められているからです。最後に生産農家がいくら儲かるかと言う点では、一日当りの所得で示すと無登録牛産子が100円儲かるのに対し、基本登録牛産子は132~133円、本原登録牛産子は135円、高等登録牛産子は156~161円とそれぞれ儲けが多くなっています。

以上のように、上位の登録を持つ母牛の産子の市場成績が良いことから、登録制度の有用性が裏付けられ、特に小出し能力について検定済みの高等登録牛を今後共一層殖していくことが大切です。

生産農家も、迫りくる牛肉の自由化に備え、良い子牛、良い肉牛を生産して「めざそう国際競争に打ち勝つ和牛生産」に精進されることを望んで止みません。



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役社長 山田 修造

畜産営業所 仙台市木町通り1-5-19 ☎(022)267-7211

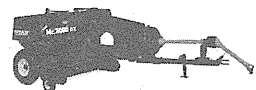
古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

本社 仙台市卸町2丁目10-3 ☎(022)284-8111

より豊かな明日の農業のために

# STAR

頼もしい働き者  
牧草梱包稲わら梱包に!!



Mr1000 Mr2000DX  
Mr3000DX、Mr4000DX

ハーベラーTHB2020

## スター農機株式会社 仙台営業所

985 多賀城市町前2丁目87 TEL022-367-4573


FAX 367-4846

昭和59, 60年度黒毛和種子牛市場登録別成績

登録	性	頭数	出荷 日令	比 %	出荷 体重	比 %	平均 価格	比 %	日令 体重	比 %	生体 単価	比 %	一日 所得	比 %
基本登録	去勢	2,667	313.0	102.0	278.9	101.8	303.5	125.7	897.4	99.5	1,084.3	123.2	978.5	122.9
		2,318	315.4	98.8	281.9	104.1	338.4	127.4	900.7	105.3	1,200.1	122.8	1,082.8	129.4
	雌	2,143	321.0	100.3	250.5	100.9	240.3	135.9	785.0	101.8	954.2	139.0	755.1	141.2
		1,813	322.3	100.7	253.2	103.3	271.5	131.3	791.7	102.6	1,069.8	127.3	849.9	130.3
	計	4,810	316.6	101.0	266.2	101.7	275.3	132.7	847.4	100.9	1,026.4	131.0	879.0	131.5
		4,131	318.4	99.5	269.3	104.8	309.0	130.9	852.9	105.3	1,142.9	126.4	980.6	133.1
本原登録	去勢	6,827	313.7	102.2	280.4	102.3	317.4	131.5	899.8	99.8	1,127.7	128.1	1,020.1	128.2
		6,570	316.0	99.0	281.7	104.0	343.7	129.4	897.1	104.9	1,219.3	124.8	1,096.6	131.1
	雌	5,844	321.8	100.3	252.4	101.7	245.1	138.6	788.6	102.3	964.4	140.4	767.4	143.5
		5,535	324.0	101.0	253.6	103.4	278.1	134.5	787.0	102.0	1,093.1	130.1	864.4	132.5
	計	12,671	317.5	101.2	267.5	102.2	284.0	136.9	848.6	101.1	1,052.4	134.3	903.6	135.2
		12,105	319.7	99.9	268.8	104.6	313.7	134.3	846.8	104.6	1,161.6	128.5	990.4	134.5
高等登録	去勢	366	308.5	100.5	291.4	106.4	357.4	148.1	951.7	105.5	1,224.7	139.1	1,169.1	146.9
		469	311.5	97.6	292.4	107.9	380.5	143.2	944.3	110.4	1,304.4	133.5	1,231.1	147.2
	雌	343	314.5	98.1	262.5	105.8	302.4	171.0	839.0	108.8	1,144.3	166.6	969.4	181.2
		422	318.9	99.4	263.1	107.3	336.0	162.6	829.8	107.6	1,268.3	150.9	1,060.5	162.6
	計	709	311.4	99.3	277.4	106.0	330.8	159.4	897.2	106.9	1,185.8	151.4	1,072.5	160.5
		891	314.9	98.4	278.5	105.4	359.4	153.9	890.0	109.9	1,287.5	142.4	1,150.3	156.2
無登録	去勢	138	306.9	100.0	274.0	100.0	241.4	100.0	901.9	100.0	880.4	100.0	795.8	100.0
		65	319.3	100.0	270.9	100.0	265.6	100.0	855.0	100.0	976.9	100.0	836.5	100.0
	雌	125	320.9	100.0	248.2	100.0	176.8	100.0	770.8	100.0	686.7	100.0	534.9	100.0
		77	320.7	100.0	245.2	100.0	206.7	100.0	771.5	100.0	840.5	100.0	652.2	100.0
	計	263	313.6	100.0	261.7	100.0	207.5	100.0	839.6	100.0	783.4	100.0	668.2	100.0
		142	320.0	100.0	256.9	100.0	233.6	100.0	809.7	100.0	903.9	100.0	736.5	100.0

(注) 上段は59年度, 下段60年度 各項目の数値は平均値を使用した。  
 平均価格の単位は千円, 生体単価の単位はkg当り円, 体重の単位はkg, 1日所得の単位は円

(事業部 太田正巳)

<p><b>TCM東洋運搬機株式会社</b></p>  <p>糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。        畜産農家の近代化に        作業の省力化に大きく貢献します。        豊富なアタッチメント。</p> <p><b>TCM東洋運搬機株式会社</b>  <b>東北ティールシーエム株式会社</b>        983 仙台市日の出町3丁目9-35        電話 022-259-6351</p>	<p>畜産の健康と未来に貢献する</p> <p>獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材</p> <p><b>小田島商事株式会社</b></p> <p>本社 岩手県花巻市卸町66番地        TEL 0198 204151(代)</p> <p>古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1        TEL 0229238888(代)</p> <p>花巻営業所 水沢営業所 青森営業所        盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所        大船渡営業所 横手営業所 山形営業所        酒田営業所 福島営業所</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 食肉の資質向上をめざして

宮城県食肉流通公社

当社は、「総合食肉流通体整備促進事業」に基づき食肉流通の合理化、近代化を図るべく、昭和54、55年度において、施設整備を行ない、昭和56年4月本操業に入り、今年で8年目を迎えました。

当社との畜処理事業実績の推移は、下表のとおりです。

年	豚 (頭)	牛 (頭)	綿山羊(頭)
56	132,241	1,565	62
57	145,982	2,088	95
58	155,171	2,507	164
59	161,537	3,932	204
60	197,571	4,455	171
61	187,837	4,356	226
62	197,131	3,738	150
計	1,177,470	22,641	1,077

農業を取り巻く環境は、依然として厳しく、国際化、情報化、技術革新等の進展する中で、稲作を基幹とした畜産等による複合農業経営の推進により、上表で示すように、昭和60年には、59年対比で122.3%と異常な伸びがあり、当社としても、開設当初総粋800頭を900頭に増頭し、利用者の皆さん方に利便を構じてまいりました。

又当社は、市場と違い、販売流通では、相対取引で、枝肉格付についても、上物率の向上では、定評があり、各利用者の枝肉共励会等は、毎月のように開催され、品質の向上を図っております。

近年3ヶ年の格付実績は下表のとおりです。

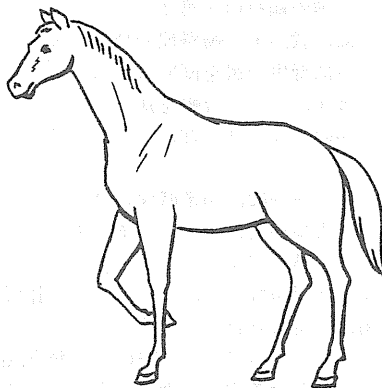
年	格付頭数	極上	上	中
60	196,682	480	83,780	73,315
61	187,627	346	79,001	70,978
62	196,904	101	77,112	78,077

並	等外	上物率(%)
26,785	12,322	42.8
25,272	12,030	42.3
30,171	11,443	39.2


最後に当社は、宮城県仙北衛生検査所との連携を図りながら、衛生的な食肉を消費者に提供し、更には、生産者も安定生産が出来るように、傷病の少ない、豚牛を均一的に生産出来るように、検査結果をフィードバックしながら、業務運営にあっておりますので、今後共一層のご理解と、ご協力をお願いいたします。

(業務部 武田宗男)

### 地方競馬の収益金は私たちの暮らしに役立っています。




地方競馬全国協会



ともに前進 技術のオリオン

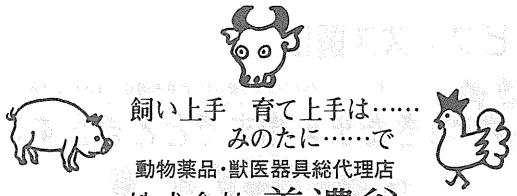
## 酪農家の

声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。



### 東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市鶴代町1番68 ☎(022)284-0691  
 宮城営業所 古川市福浦字道の上106番1号 ☎989-61  
 TEL古川(0229)23-1631



飼い上手 育て上手は……  
 みのために……で  
 動物薬品・獣医器具総代理店

## 株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL.833121  
 山形店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL.2404306  
 仙台店 仙台市大宮字布目字東通り57~1 TEL.240963  
 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL.240963  
 いわき店 いわき市常盤湯本栄田3 TEL.0246440300

家保だより

築館のフランス鴨

現在宮城県では、地域特産の地場産業を育成するために、今までにない新しく、珍しい畜産を“オリジナル畜産”と銘打って、発展させようとしています、その一例として、築館町にはフランス鴨の共同飼育組合があります。

そもそも、我が国では古来より鴨を食用としてきました。鴨料理の第1号は、奈良時代の霊亀元年、いまからざっと1270年前の西暦715年のことです。〔揺磨風土記〕(官命により各国で撰述された地誌のひとつで、716年から編纂が開始された)のなかに、品太(はむだ)の天皇と鴨雛についての記載があります。

次いで、料理書原典研究会の鈴木晋一氏によりますと、平安、鎌倉時代と経過して室町時代初期の〔庭訓往来〕(ていきくおうらい)に出てくる鴨煎(かもいり)という一種の鍋料理が第2号とのことです。

このように、我が国の鴨料理の歴史は古いのですが、現在では、主に野生の鴨を飼い慣らして家禽化(家畜化)したアヒル、つまり合鴨を食べております。そして、このなかのバルバリー種の一つが、フランス鴨なのです。

このバルバリー種は、南米産マスコビー種をフランスで改良した大型種で、大味ではありますが、皮下脂肪が少ないのが特徴です。また、この鴨は長期間強制的に飼料を与え脂肪肝とし、フォアグラ(肝臓ペースト)製造用にも用いられています。

現在、築館町にあるフランス鴨の共同飼育組合では、成鳥や幼鳥等を合せて約600羽を飼育しています。肉は専門の業者に委託し薫製とした後、スライスしたものや、ソーセージとしたものをパック詰めし、卵とともに、地元はもとより、仙台の大手デパート等へも販売しています。今後は飼育から解体・加工・販売までの一貫経営を目指しており、この鴨が野草をこのんで採食することともあいまって、転作田等の牧草利用に

よるより低コストな生産の可能性がうかがわれます。また、組合員は栗原郡内を始め、石越、豊里等にもおり、組合員全体で3,000羽を飼育中であり今後の発展が期待されます。

しかし、同組合では現在はこの鴨の初生ビナの雌雄鑑別法が不明であることや、育雛技術の改良が必要であること、また、飼養羽数が増加してくれば、もとより疾病には強いと言われているフランス鴨でも、やはり病気の防疫体制の整備が必要となってくること等の課題があります。

幾多の未知の難問がでてくるかもしれませんが、今後、栗原郡の農業粗生産額の3割を占める畜産業の発展に、このフランス鴨が、どのように貢献してゆくか見守ってゆきたいものです。(梅村和弘)

〈畜試便り〉

系統豚組合せ検定成績

発育が早く、肉質が良い「宮城の銘柄豚」づくりを目指し、昭和58年度から畜産試験場では、ランドレース種の系統造成を実施し、本年には第5世代が誕生し、現在、検定を受けておりますが、順調に当初の改良目標を達成し、雌系の系統豚としての十分な能力の成績を収めて来ており、今後の活躍が期待されております。昭和64年度末には系統豚の完成が予定され、そのための、飼養管理技術及び効率的利用等の検討を進めております。

今回は、現在造成中のランドレース種豚が効率的に広く利用されるため、3元雑種肉豚生産に欠くことのできない系統間の組合せによる交配方式を決定することを目的に、昭和61年度に生産されたランドレース雌と大ヨークシャ種(W)雄との雑種第1代〔ハヤチネ系(LW<sub>1</sub>)、サクラ系(LW<sub>2</sub>)〕に、同62年にはこのLWにデュロック種系統豚の雄〔ボウソウ(D<sub>1</sub>)、サクラ(D<sub>2</sub>)〕を交配し、三元雑種肉豚(LWD)を生産し、その産肉成績について、比較検討をしました。

ビフィズス菌は
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。
ビヒダス
ヨーグルト 500ml
名取市飯野坂五丁目1番3号
(022) 384-5181

発育促進・食欲増進・栄養補給に
バイミルク
ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤
日本全薬工業株式会社



なお、本県における組合せ検定計画については、図1のとおりです。又、組合せ検定に供試した各系統造成途上豚は表1に示しました。

表2には、LW及びLWD生産における繁殖成績について示しました。ハヤチネ系(LW<sub>1</sub>)では、極端に産子数が少なかったものがあり、平均1腹当たりの産子数が低くなっています。いっぽう、LWDにおいては、ハヤチネ系(LW<sub>1</sub>)で受胎率100%であったが、サクラ系(LW<sub>2</sub>)では85%にとどまりました。産子数を見ますと、ハヤチネ系(LW<sub>1</sub>)で8.0頭、サクラ系(LW<sub>2</sub>)で9.2頭の成績となりました。

表3には、系統別LWDの産肉成績を示しました。肥育終了日令では、終了時体重に組合せ群の間に平均値で最大2.9kgの差が認められましたが、ボウソウ(D<sub>1</sub>)とサクラ(D<sub>2</sub>)の組合せにおいて、159.8日と最も短い値を示し、サクラ(D<sub>2</sub>)とサクラ系(LW<sub>2</sub>)の組合せでは、174.9日と最長となり、両者間には、有意な差が認められました。父豚系統毎の平均値では、ボウソウ(D<sub>1</sub>)で164日、サクラ(D<sub>2</sub>)で173.4日とその差は9.4日でした。1日平均増体重では、ボウソウ(D<sub>1</sub>)とサクラ系(LW<sub>2</sub>)の組合せが最も高い値を示しました。飼料要求率では、全ての系統間組合せによる測定成績で有意の差は認められませんでした。日本食肉格付協会による枝肉の格付では、全体で51.1%の上物率を示し、格落ち原因は、脂肪の質・色沢によるものが16頭、腰部脂肪付着過剰4頭、薄脂2頭、腹部脂肪付着過剰1頭という成績でした。

以上、組合せ検定成績について述べてきましたが、これらの成績に、さらに検討を加えるべく、本年と来年度において、第2次の組合せ検定を実施することにしており、そのための供試豚LW母豚の生産については昭和64年1月を予定しております。

優れた枝肉生産のために欠くことのできない、産肉性については、デュロック種豚を交配した三元種肉豚での成績が重要であり、その最終目標を決定するために組合せ検定が重要となってきます。そして、その肉豚がまとまった群として生産され販売されることが大事です。

現在、系統豚完成後における肉豚までの普及利用体制づくりが、各関係者によって進められております。同時に、今後は適切な飼養管理マニュアルづくりを、各種試験成績をとおして本格的に検討していくこととしております。

(養豚家きん科 川村芳夫)

図-1 本県における組合せ検定計画

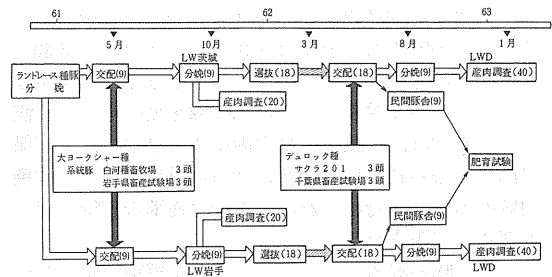


表-1 組合せ

Table with 2 columns: System (L, W1, W2, D1, D2) and Generation (G2, G5). L: 宮城県系統造成途上豚, W1: 岩手県, W2: 白河種牧, D1: 千葉県, D2: 白河種牧. G2: 第二世代, G5: 第五世代.

表-2 産肉成績

Table with columns: Combination, Sex, Age, Number of Pigs, Final Weight, Final Age, Average Daily Gain, Carcass Yield, Feed Intake, and Feed Requirement. Rows include LW1\*D1, LW2\*D1, LW1\*D2, and LW2\*D2.

注) 飼料消費量と要求率は3頭群飼の合計量を1頭当りに換算

表-3 繁殖成績

Table with columns: Combination, Mating System, Pregnancy System, Fertilization Rate, Parturition System, Parturition Date, Average Litter Size, Average Birth Weight, Lactation Start, Lactation End, Average Weaning Weight, and Fertility Rate. Rows include LW\*W1, LW\*W2, LW1\*D1, LW1\*D2, LW2\*D1, and LW2\*D2.

・4週齢離乳 ・人工授精  
・2週齢餌付け

Advertisement for 北日本飼料株式会社 (Kita-Nippon Koryo Co., Ltd.). It features a logo and lists various types of feed: 採卵鶏用配合飼料, ブロイラー配合飼料, 肉牛用配合飼料, and 乳牛用配合飼料. Contact information for the company is provided.

## 豚オースキー病の動向

豚オースキー病とは：ウィルスによって起こるもので、哺乳豚では神経症状を、妊娠母豚では死産を惹起する病気です。豚がいったん感染すると体内にウィルスを持ち続け、本病の伝播源となるのが特徴です。

初発から現在まで：昭和56年山形県での初発以来、浸潤が進み、福島以南の関東地方に発生が集中しています。昭和63年も9月1日現在8県、35戸、173腹、1,342頭の発生が認められています。本県での発生は認められていません。また、昭和62年度の全国の浸潤状況調査では、茨城、千葉の両県で汚染地域が全家保管内に認められているほか、神奈川県においても汚染地域の広がりが認められ、引き続き従来の防疫対策の推進が重要視されています。

対策：豚の導入については、本病に感染していない（抗体陰性）豚を未発生地から導入する。導入後についても他の豚を含めた定期的な抗体検査の実施が大切です。抗体陽性豚が摘発された場合には、計画的な淘汰が肝要です。さらに畜舎内外、畜体は勿論、人、車等の消毒を徹底し、他からの人、車の出入りを制限することが感染経路をたち消す意味で重要なことです。ワクチンによる防疫については、現段階での国内での応用はなされていません。

今後本病は、従来の局地的定着から地方浸潤への道を辿ることも十分考えられます。本県への侵入も危惧されることから、本病についての関係機関および養豚農家への意識高揚と併せて強力な予防体制と状況把握が必要です。なお、不明な点は最寄の各家畜保健衛生所まで問い合せ下さい。

仙台家畜保健衛生所 病性鑑定課 山田稲生

## 随想

### 魚取り

幼い頃の思い出の中で私にはとくに魚取りの思い出が深い。小学生の時分我が家は父母の職業柄学校から帰宅してただ今と云ってもお帰りの声はめったに聞く事のない現代の鍵っ子と似た境遇に育ったものであるから帰宅して家にカバンをおくなり魚取りに行く事が多かった。自宅の裏から見渡す限りの田んぼが続き江合川の支流のところどころにフナ、ナマズ、ウナギのいる川が続き子供乍らも大きい魚のいる場所も季節・季節で分っており楽しい魚取りをしたものである。学年も進むにつれて捨て針と称して泥鰌やミミズを餌にして餌をつけた青竹の針を一本一本日暮れにウナギの通るようなところを予想して川岸にさして翌朝、朝日の昇る頃に針をあげるのであるが10本に2・3本主としてウナギが獲れたものである。早寝する楽しみもあり取獲したものは登校前に料理して晝飯のオカズとし自慢したものであり動物蛋白源として食糧難の当時としては貴重なものであった。飯粒を餌としてのハヤ、オイカワ釣り主としてカツオのキモを使ったハヤのキモ釣り、ミミズを餌としてのフナ、鯉釣り、タニシをつぶし米糠、ニラをまぶした餌や山椒の葉を餌としての泥鰌筒取り等をしたものである。故郷を離れて18年目に故郷で仕事をする機会に恵れ幼友達を訪ねて魚談義となったが桜の花見の頃から投網に興ずることとなった。江合川、鳴瀬川、そして広瀬川、名取川、鬼首上流迄広範囲に及んだなかでも鬼首ダム上流でのアユ、ニジマス、赤腹魚、江合川では鳴子町川渡、小黒崎から川渡橋下迄のアユの大きさは一番であった。川渡橋上流の赤腹も良いがやはり鬼首・轟地区の5月下旬からの赤腹は量も味も良く忘れ得ない。新幹線と縦貫道が走り街並みもすっかり変わった故郷古川、なつかしい魚を追いし川もコンクリートで川岸も整備され、生活用水に汚れ魚影すら見られなくなった。魚取りをした我々年令層には環境汚染を身近かに感じてならない。魚の住むきれいな川に戻すことはもう不可能なのであろうか。自然の大切さをつくづく思う此の頃です。

(我妻信義)

## 人の動き

宮城県生乳販売農業協同組合連合会 10月1日付  
退職<9月19日付>(参事) 滝沢 長吉  
参事(全酪連仙台支所次長) 猪狩善三郎

宮城県経済農業協同組合連合会 10月1日付  
飼料課長 (施設設計センター所長) 内ヶ崎富久雄  
生産対策課長(飼料課長) 石井 稔  
食糧販売課長(食肉販売課長補佐) 伊藤 祐輔  
食肉販売課長補佐(肥料農業課長補佐) 半沢 栄雄

宮城県畜産農業協同組合連合会 9月30日付  
退職(囑託) 赤井沢義一

宮城県家畜商協同組合 10月1日付  
退職<9月30日付>(参事) 大久保貞夫  
参事(県畜産農協連囑託) 赤井沢義一

( )内は旧所属

おことわり

紙面の都合で“畜産物市況の展望”を休ませて頂きました。